

大会規定

1. チームの登録選手中学部は、**11名以上25名以内(ベンチ入りは20名以内)**、**中学生ジュニアの部は11名以上20名以内**、**小学生の部は9名以上20名以内とする。**
2. 審査証は**2023年度発行のものとする。**
3. オーダー表記入選手20名以内及びチーム責任者、登録された監督、コーチ及びマネージャーのみがベンチに入ることができる。但し、各種登録証(チーム責任者、監督、コーチ)及び審査証(選手)を携帯していない場合は、いかなる理由でもベンチに入れなチーム責任者、監督、コーチは、試合開始までに間にあった場合は、審査のうえベンチ入りできる。また、選手は試合終了までに間にあった場合は、審査のうえベンチ入りできる。チーム責任者が不在の場合は試合できない。

■資格審査方法と手順(大会運用細則マニュアルより抜粋)

- ①審査員は原則として、大会役員が2名2組で行うものとし、使用用具の審査は審判員もすることができる。審査を受けていない用具はベンチへの持ち込みを禁止する。
 - ②審査は、ウォーミングアップを中断させないように配慮する。
 - ③資格審査内容は、連盟の審査要項・大会規定・特別規定に基づいて行うこと。
 - ④指導者、選手を整列させ登録名簿原簿と指導者登録証、審査カードとの照合と有効期限の確認を行う。
 - ⑤第2試合目のチームの審査は第1試合の4回終了を待たずに行ってもよい。又、4項①チーム到着後所定の審査を受けられるよう準備が出来れば審査してもよい。
- ※指導者(チーム責任者・監督・コーチ・マネージャー)、選手を整列させ、指導者、選手の服装と指導者登録証の携帯と登録名簿原簿との照合を行うと同時にカードの有効期限の確認を行う。
4. 組合せの若番号が1 塁側のベンチ、後番号が3 塁側のベンチに入る。ただし、チーム責任者、監督、コーチは登録証を携帯すること。
 5. 監督(背番号60)、コーチ(背番号50)は選手と同じユニフォームを着用すること。
 6. 試合開始時刻60分前に試合場に到着し、所定の審査を受け、直ちにオーダー表を5部審判部に提出しなければならない。
 7. オーダー表交換時に両キャプテンにより、先攻、後攻をジャンケンで決める。
 8. 試合開始までにチームがグラウンドに現れないときには、球場責任者と責任審判員が協議して、没収試合を宣言することができる。
 9. 試合方式など

■中学生の部(中学生ジュニアの部含む)

- (1) 各試合は7回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。
試合成立後は試合開始から2時間を超えた場合、新しいイニングには入らない。
また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、両チームが完了した均等回の総得点で勝敗を決する。
同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。
試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
- (2) 4回終了時10点差、5回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
- (3) 7回終了後、同点の場合は最終日のみ延長戦に入るが、延長8回(決勝戦は10回)あるいは試合開始から2時間(決勝戦は2時間20分)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングには入らず、タイブレーク方式を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
すなわち、最終日以外の同点の場合は、延長戦・タイブレークを実施せず抽選とする。

■小学生の部(小学生ジュニアの部は別途特別規則による)

- (1) 各試合は6回戦で行い、4回終了をもって正式試合とする。
試合成立後は試合開始から1時間40分を超えた場合、新しいイニングには入らない。
また、降雨や視界不良などにより試合続行が不可能となった場合、両チームが完了した均等回の総得点で勝敗を決する。
同点の場合は最終回時点で出場していたメンバー全員の抽選とする。
試合成立前に、上記の理由により試合続行が不可能になった場合は、サスペンデッドゲームとする。
- (2) 4回以降7点差の場合、コールドゲームとする。
- (3) 6回終了後、同点の場合は最終日のみ延長戦に入るが、延長7回(決勝戦は9回)あるいは試合開始から1時間40分(決勝戦は2時間)を超えては(どちらか早い方)新しいイニングに入らず、タイブレーク方式を実施する。(競技に関する特別規則「タイブレーク実施細則」参照)
すなわち、最終日以外の同点の場合は、延長戦・タイブレークを実施せず抽選とする。

10. 投球数については連盟のガイドラインに準ずる【別添ガイドライン】